

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	総務部
課室名	財政課

予算	決算書			
	款	項	目	頁
	2	1	4	64

目名	
財産管理費	

事務事業名称	
財産管理事業	

1. 概要

目的	市有財産の管理	対象	市内全域
事業概要	<p>○財産維持管理事業 ・市有財産の保守点検(警備委託、浄化槽、消防設備、庁舎設備、自家用電気工作物、ip電話) ・清掃 ①庁舎等8ヶ所、②庁舎周辺3カ所、③駅周辺2ヶ所、④遊休地14ヶ所 ・修繕業務</p> <p>○財産処分事業 ・普通財産の処分 ①売却、②無償譲渡(土地、建物)にともなう分筆登記、③不動産鑑定 ・解体等</p> <p>○公用車管理事業 ・公用車の維持管理、廃車</p>		

経/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	財産維持管理事業	①8ヶ所、②3カ所、 ③2ヶ所、④14ヶ所	委託料	114,015	96,944	2,625	0	39,571	54,748	3
経常	財産処分事業	①3件、②土地(2 件)、建物(11件)	委託料	3,413	3,413	0	0	0	3,413	3
経常	公用車管理事業	公用車の維持管理、 廃車(19件)	役員費	5,575	5,114	0	0	0	5,114	3
計				123,003	105,471	2,625	0	39,571	63,275	

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な財産管理		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			普通財産の処分を行い維持管理費の削減に努める				
活動指標	指標	a	普通財産処分(売却等)による財産収入の増	b	建物の解体による維持管理費の削減	c	公用車の削減と適正な配置	d	職員による市有地の清掃
	数値	目標	30件(H22~)	目標	10件(H22~)	目標	70件(H23,H24)	目標	—

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
適正な財産管理		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 普通財産処分(売却等)による財産収入の増	件	12件	10件	13件
		—	—	43.3%
b 建物の解体による維持管理費の削減	件	3件	—	0件
		—	—	—
c 公用車の削減と適正な配置	件	2件	50件	19件
		—	—	—
d 職員による市有地の清掃	ヶ所	21ヶ所	21ヶ所	20ヶ所
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市有財産の老朽化による修繕や遊休地の清掃(草刈)範囲が年々多くなっている
対応(改善点等)
土地・建物の処分と公用車の削減を進める

5. 事業費・・・H20~H22(決算額)、H23(予算現額)

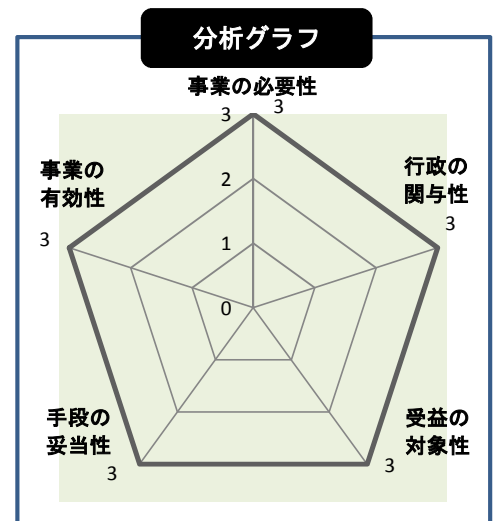
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		105,850	135,371	105,471	114,478
うち経常経費		65,688	72,351	63,275	80,046
財源内訳	国費		1,102		4,509
	県費			2,625	
	市債				
	その他	40,162	61,918	39,571	29,923
	一般財源	65,688	72,351	63,275	80,046
うち経常		65,688	72,351	63,275	80,046
事業費に係る人件費		20,801	20,906	20,585	19,780

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
予算のほとんどが必要経費であるが、普通財産処分や公用車の削減計画により維持管理費の減額が見込まれる

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 財産管理は法令等に基づき市が行うべき事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により財産の維持管理、処分を実施することが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市内全域にある市有財産管理事業である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 維持管理等の必要経費を削減するためには普通財産の処分や公用車の削減は重要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 財産処分による維持管理費削減の有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	適正な維持管理に努め収入確保を図り、さらに経費削減に努めること